

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<p>○ 地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長井小の取組は、豊かな人間性、豊かな体験でいい取組をしていると感じている。チャレンジプランは、マンネリ化した教育に対し素晴らしい取り組み。年 30 時間でも、かなりの準備、評価に時間を費やす。移動の時間、ロスの時間が子どもや教師に負担がかかるのではと課題が想像できる。</li> <li>教育効果はすぐに表れるものではないが、期待したい。課題を解決し、いい結果を期待する。</li> <li>教育条件の整備でも、恵まれた人的環境の下教育を受けている。人的配慮がなされており、学校現場の先生と意思疎通していい方向になるように期待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジプランは移動手段、計画に難しさがある。町の教育研修所の研修を一本化してこの事業にあてている。車はスクールバス、ワゴン車を利用。試行期間が終わり、2学期から本格実施。5校が集まれば5人の先生がいるから、1人ではできない授業をして一人ひとりに力をつける。今後のやり方は、兼務辞令で指導を可能にするなど工夫し子供を育てる。この学校で何ができるか有利な条件を利用。最後に頑張ってもらうのは先生。学校の先生が長井小の教育をどういう風に変えるか。今、一所懸命挑戦をしている。子どもたちの反応を聞いていただくとわかる。先生の意識改革がされている。児童の年間授業数は約 1,000 時間あるが、うちチャレンジプランの 30 時間に刺激を受けあと 970 時間をどうするか。</li> </ul>
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長井小の児童が香住第一中学校に上がった場合、学力、体力、切磋琢磨する力が劣っていると考えているか。</li> <li>・長井で生まれ、他所に出ている時も思うのは長井の風景、親の背中を思う。長井に帰ってきて、子どもには学力だけでなく、人としての心、人を大切に思う心を大事にしないといけないと思う。今はPTAだが、子どもが小学校にいなくなっても統廃合の日まで、命尽きるまで学校には協力したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長井小学校の子が劣っているとは思っていない。</li> <li>ただ、学校規模が小さいので、平均点は学年によって子どもによって大きな違いが出てくる。小規模校の子の学力が劣っているという報告は受けていない。</li> </ul>
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いてよくわかった。30 時間の体験により残りの 970 時間に波及することが望まれる。少人数指導は最大のチャンスだと聞き個人差に応じた授業をどれだけできるようになるか大変期待している。いずれ何らかの形で評価が出てくるだろう。</li> <li>・余部小学校の例で学年で1人になった時に、統合するか存続するかをどう判断するかが大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余部の御崎分校の親は、1人でも通わせたいと頑張っている。</li> <li>保護者が、小規模校であっても、1人の子どもでも通わせたいという学校であれば、ここでは教育できませんから統合してくださいという話にはならない。保護者に満足していただけるような存在価値のある学校にしてほしい。</li> </ul>

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<p>事。1 学年 1 人になった場合、本来の教育はどうかなと疑問に思う。</p>	<p>保護者が1人ではだめだと判断するなら、校区外就学を検討する時期が来るかもしれない。5年先のことを言うのは難しい。今年、来年どういう教育をしていくかを見る中で判断していかなければならない。しばらく様子を見て、2年後にこの会議を開催したい。その間教育実践を見ていただきどう判断するか、そこで意見を聞かせていただき、これはおかしいということであれば統廃合を方向付けるという計画。何年間かこういうことをやっていく。教育委員会の考え方も弾力的にならざるを得ないと思われる。</p>
<p>○地域住民</p> <p>・統廃合は望んでいない。が、人間関係においてメンバーが変わらないと、一度いじめられたらそのままの人間関係となる繰り返して、いいとは言えない。中学校では沢山の人と出会う。不登校、自殺、いろいろなことがあるが沢山の人にもまれることも大事。小学校の間に経験できる範囲のことをできるだけしていただきたい。</p> <p>逆に、香住小から一中に行くとそのままの人間関係を引きずることが多い。香住小ではいじめで悩んでいる話も聞く。小規模校で目が行き届く面はいい。他の学校との取り組みについてはありがたく、増えることを望む。私としては協力できることはしたい。統合するのは簡単。小学校がなくなると地域全体が廃れてしまい子供の声が聞こえなくなるので地域全体ががんばらないといけない。どうすれば増えるか。どうにかして増えないか、元気のある香美町になってほしいと思っている。</p>	
<p>○地域住民</p> <p>・長井小のいいところは感じている。地域の人が登校時もサポートしてありがたいなと思っている。1年生が 3.6 キロ歩いて通学しているという話があったが、上級生のサポートがあった。今の地区の状況は低学年でも班長にならざるを得ない。登下校の問題があり家の負担も大きい。香住小には学童保育があるので安心して通わせることができる。</p> <p>小さい学校を残していこうと思えばサポート体制の整備をしていただきたい。</p>	<p>・切実な思いだと思う。放課後児童クラブは本来小学生対象。香美町では幼稚園も町単独事業で対象としている。国の基準は小学校1～4年まで。就学前から小学生までの受け皿をどうするか。新しい法律ではニーズに応えなさいということになっている。放課後児童クラブの就学前の部分については努力目標ですから、町としてどうするか、これから町企画課が地域の声を聞き今ある施設の中で、どういう体制で受け皿を作るか、足りない部分をどう補っていくか、今年と来年をかけて決めていく。教委では判断</p>

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<p>・チャレンジプランはいい取組だと思うが、グループ編成については、小規模校だけの交流で保護者が願っている編成になっているか。香住小との交流も見てみたい。大人の中で育っている子供同士でうまく遊べない子が保育園に通いだすとうまく遊べるようになり人間関係を学んできた。</p> <p>スーパー連携の取組も小規模校同士ではなくて大規模の中で学んでいくことも大事だと思う。学校は残してほしいが、町としても課題を何とかしてもらわないと難しい状況になっている。</p>	<p>できない、町全体の中で判断していく。教委としての方向性をしっかり考えていきたい。</p> <p>・人数の少ない地域の小学生の受け皿として地区公民館が拠点となり、放課後子ども教室を生涯学習課で進めている。そういうものと放課後児童クラブの受け皿をどうしていくか、就学前、幼稚園を認定こども園化していく方向性が地域の保育所を含めてしっかり話をしていく。</p> <p>地域を元気にする、活性化する拠点は香美町では学校、特に小学校と地区公民館だと思っている。</p> <p>・香住小との交流は最初は香住小も含めて考えたが、香住小学校は相手校が沢山になり、香住小の職員、学校の体制として受け入れが非常に難しい。今は小規模校のみ。香住小学校を入れない理由は、交流するなら統合すればよいから。いいことだとは思いますが、香住小がそこに入れなかったかは学校の状況、受け入れられる余裕がないという判断から。</p>
<p>○地域住民</p> <p>・長井地区は環境がよく、各家庭がしっかりしている。子どもは愛情を受け成長している。大学の進学もいい学校に進学する子が沢山いる。</p> <p>長井小の先生方の点検評価での自己評価を見るとたくましさがないという意見を見て愕然とした。最近の就職の人事担当者は“自頭力”を求めているという記事をみた。これはたくましさと関係があるのかと。</p> <p>子どもに求められているのはルールの上を努力していく力、それが必要だと思っていた。しかし、必要なのは“たくましさ、強さ”かなと思う。</p> <p>町の統計では 30～40 年後は53%まで人口減。長井の地で生きていくことができるか。時代が変わった。統合するしないではなく、子どもが将来どう生きていくか、役に立つ必要な力をつける教育をしてもらうことが大切。お父さんお母さんにそう考えてほしい。</p>	<p>・小学校の統廃合を考えたときに、自分の考えで判断できる力、自分の思いが話せる、人の話を聞き取れることは絶対条件だと、どの学校も重視している。しかし、もっと大事なことは愛情を受けて育っているかどうか。親に、教師に、地域に愛されて育つことが一番、それが教育の原点。自ら考えて判断していく力を考えたときに、大人数の授業と人数の少ない授業とでは何を変えることができるかは一人ひとりの子どもがどういう状況にあるかしっかり理解し、少人数の個別化授業。小規模校の学校ですべきことは、達成度の違う子、個人差に応じて個人を伸ばす、一人ひとりの子どもをどれだけ伸ばせるか。グローバルに活躍する人材も育成したいが、ふるさと教育によりこの地域を元気にする子を育てたい。</p>

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジプランに参加した子供の声はいろいろな学校の友達と活動して楽しかったとか負けたくなかったとかいろいろ聞いている。切磋琢磨という意味では、学校としても他の学校に負けたくないという意見も聞いている。</li> </ul> <p>30 時間の取組についてこれからもよろしくお願ひしたい。地域に密着した学校なので長井小の存続を望む。</p>	